

令和4年度 球美中学校各教科シラバス

教科名	中学1年 美術科
教科担当	宜保 泉
教科書名	美術 1
副教材名	沖縄の美術 美術資料

はじめに：これから始まる学習に積極的に意欲を持ち、主体的に学ぶ生徒（本校教育目標：知の側面）をめざし、教科ガイダンスを実施します。この1年間の学習について教科シラバスを示して説明します。

予測が困難と言われるこれからの社会で、球美中生徒のみなさんが、①生きていくため、②あこがれの職業につくため、③夢を実現するためには、中学校の各教科の授業の中で身につける「主体的に学ぶ力」が、みなさんの将来に大きな力となって役立ちます。

球美中学校の各教科担当（教科の先生）は、みなさんに、「主体的に学ぶ力」が身に付くよう、「今日の目標 → 目標を達成するための授業・活動 → 今日の目標が達成できたかのまとめ・振り返り」による「わかる授業」を学校全体で実践します。

生徒の皆さんは、各教科の授業における「学び」は実生活とつながっているということを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得」ができるよう努力してください。さらに、「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を活用する活動（思考・判断・表現等）」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「主体的に学ぶ力（＝学びに向かう力）」を育成することにつながります。

教科の学びの習得は、あなたの夢をひろげます。ともに頑張りましょう!!

1 美術科の学習について

学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> (1) 表現及び鑑賞の活動を通して、創作活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育てる。 (2) 美術の基礎的な能力を伸ばし、地域文化についての理解を深め、豊かな感性を養う。
授業のすすめ方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 創作実技、鑑賞の2領域の活動を中心にすすめていきます。 ・ レタリングの方法やデッサンの基礎、色相に関してや各名称等についても学習し、定期テストで知識技能の定着確認を行います。
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> (1) 基礎的な理論、技法を学習し、活用できるよう取り組む。 (2) より主体的に表現し、取り組めるよう意欲をもって授業に臨む。 (3) 互いに関わり合い、共感し合う場をつくり、学び合う姿勢を大切にする。

2 評価について

評価方法	<p>表現に関する態度：授業に臨む姿勢が問われます。忘れ物をしないこと、課題に集中して取り組むこと、私語や別のことをしないことが大切です。</p> <p>発想や構想：作品製作時の発想や構想の力を見ます。描くことが苦手な人も、独自の発想、アイデアを持って製作できれば評価が上がります。</p> <p>知識・技能：作品を制作する際の技能です。それぞれの単元において求められる基礎的な技法をマスターできるように頑張りましょう。</p> <p>鑑賞に関する態度：教科書やお互いの作品を鑑賞し、まとめる力を見ます。</p>
単元テスト	<ul style="list-style-type: none"> ○ 範囲ごとに単元テストを行います。 ○ 授業で取り組んだ題材から出題。 ○ 授業内でやり取りした事からも出題。 ○ 実技（簡単な描画など）も出題。

3 年間指導計画

月	主な学習内容および項目	教材・教具等
4月	第1時 教科ガイダンス ※教科シラバスを用いて学習内容や評価方法について説明する。 美術との出会い「中学校美術の世界へようこそ」	美術科シラバス
5月	絵画・彫刻「絵や彫刻との出会い」 ・スケッチ ・デッサン ・本制作	毎時間、教科書・ファイルなどの学習用具を必ず持つてくること ※単元テストは実施する1週間前にお知らせします。
6月	絵画・彫刻「絵や彫刻との出会い」 ・本制作 ・グループ鑑賞	
7月	鑑賞「鑑賞との出会い 見方や感じ方を広げよう」	
8月	コンクール作品制作	
9月	鑑賞「デザインや工芸との出会い」 デザイン「文字っておもしろい」	
10月	デザイン「色彩の基本・仕組み」 デザイン「3原色から生まれる色」	
11月	鑑賞「絵文字について」 デザイン「レタリング練習」	
12月	デザイン「絵文字の制作について」 ・アイデアスケッチ、本制作、グループ鑑賞	
1月	鑑賞「祭りを彩る造形」 表現「モダンテクニック」 ・モダンテクニック	
2月	表現「モダンテクニック」 ・イメージ構成、グループ鑑賞	
3月	表現「広がる模様の世界」 ・アイデアスケッチ、本制作、グループ鑑賞	

4 授業をうける心構え

- 球美中学校 授業の約束「スクール7」を重点にする。
 - ・チャイムが鳴る1分前までに授業の準備をして着席し、立腰・黙想を行う。
 - ・質問があるときや問いに答える時は、黙って右手をまっすぐ挙げる（無言挙手）など。
- 美術に興味を持ち、楽しく取り組むようにすること。
- 実技が苦手でも、自己表現を高める努力を重ねること。
- ペアやグループ学習では積極的に意見交換をして、表現力を高めること。

5 家庭学習のアドバイス

- 単元テスト前は授業のプリントやワークをふり返し、対策にしっかり取り組むこと。
- 夏休みの課題は、必ず提出できるよう計画的に取り組むこと。

令和4年度 球美中学校各教科シラバス

教科名	中学2年 美術科
教科担当	宜保 泉
教科書名	美術2・3上
副教材名	沖縄の美術 美術資料

はじめに：これから始まる学習に積極的に意欲を持ち、主体的に学ぶ生徒（本校教育目標：知の側面）をめざし、教科ガイダンスを実施します。この1年間の学習について教科シラバスを示して説明します。

予測が困難と言われるこれからの社会で、球美中生徒のみなさんが、①生きていくため、②あこがれの職業につくため、③夢を実現するためには、中学校の各教科の授業の中で身につける「主体的に学ぶ力」が、みなさんの将来に大きな力となって役立ちます。

球美中学校の各教科担当（教科の先生）は、みなさんに、「主体的に学ぶ力」が身に付くよう、「今日の目標 → 目標を達成するための授業・活動 → 今日の目標が達成できたかのまとめ・振り返り」による「わかる授業」を学校全体で実践します。

生徒の皆さんは、各教科の授業における「学び」は実生活とつながっているということを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得」ができるよう努力してください。さらに、「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を活用する活動（思考・判断・表現等）」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「主体的に学ぶ力（＝学びに向かう力）」を育成することにつながります。

教科の学びの習得は、あなたの夢をひろげます。ともに頑張りましょう!!

1 美術科の学習について

学習のねらい	<p>(1) 表現及び鑑賞の活動を通して、創作活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育てる。</p> <p>(2) 美術の基礎的な能力を伸ばし、地域文化についての理解を深め、豊かな感性を養う。</p>
授業のすすめ方	<p>・ 創作実技、鑑賞の2領域の活動を中心にすすめていきます。</p> <p>・ レタリングの方法やデッサンの基礎、色相に関してや各名称等についても学習し、定期テストで知識技能の定着確認を行います。</p>
学習上の留意点	<p>(1) 基礎的な理論、技法を学習し、活用できるよう取り組む。</p> <p>(2) より主体的に表現し、取り組めるよう意欲をもって授業に臨む。</p> <p>(3) 互いに関わり合い、共感し合う場をつくり、学び合う姿勢を大切にする。</p>

2 評価について

評価方法	<p>表現に関する態度：授業に臨む姿勢が問われます。忘れ物をしないこと、課題に集中して取り組むこと、私語や別のことをしないことが大切です。</p> <p>発想や構想：作品製作時の発想や構想の力を見ます。描くことが苦手な人も、独自の発想、アイデアを持って製作できれば評価が上がります。</p> <p>知識・技能：作品を制作する際の技能です。それぞれの単元において求められる基礎的な技法をマスターできるように頑張りましょう。</p> <p>鑑賞に関する態度：教科書やお互いの作品を鑑賞し、まとめる力を見ます。</p>
単元テスト	<p>○ 範囲ごとに単元テストを行います。</p> <p>○ 授業で取り組んだ題材から出題。</p> <p>○ 授業内でやり取りした事からも出題。</p> <p>○ 実技（簡単な描画など）も出題。</p>

3 年間指導計画

月	主な学習内容および項目	教材・教具等
4月	第1時 教科ガイダンス ※教科シラバスを用いて学習内容や評価方法について説明する。 鑑賞「学びの実感と広がり」	美術科シラバス
5月	デザイン・工芸「その一枚が人を動かす」 ・ポスターについて ・アイデアスケッチ	毎時間、教科書・ファイルなどの学習用具を必ず持ってくること
6月	デザイン・工芸「その一枚が人を動かす」 ・本制作	※単元テストは実施する1週間前にお知らせします。
7月	デザイン・工芸「その一枚が人を動かす」 ・グループ鑑賞	
8月	コンクール作品制作	
9月	鑑賞「仏像に宿る心」	
10月	デザイン・工芸「つくって味わう工芸」 ・作品作成の説明 ・アイデアスケッチ	
11月	デザイン・工芸「つくって味わう工芸」 ・本制作	
12月	デザイン・工芸「つくって味わう工芸」 ・本制作 ・グループ鑑賞	
1月	鑑賞「浮世絵はすごい」 絵画・彫刻「水と筆を操る」 ・水墨画について	
2月	絵画・彫刻「水と筆を操る」 ・練習 ・本制作	
3月	絵画・彫刻「水と筆を操る」 ・本制作 ・グループ鑑賞	

4 授業をうける心構え

- 球美中学校 授業の約束「スクール7」を重点にする。
 - ・チャイムが鳴る1分前までに授業の準備をして着席し、立腰・黙想を行う。
 - ・質問があるときや問いに答える時は、黙って右手をまっすぐ挙げる（無言挙手）など。
- 美術に興味を持ち、楽しく取り組むようにすること。
- 実技が苦手でも、自己表現を高める努力を重ねること。
- ペアやグループ学習では積極的に意見交換をして、表現力を高めること。

5 家庭学習のアドバイス

- 単元テスト前は授業のプリントやワークをふり返り、対策にしっかり取り組むこと。
- 夏休みの課題は、必ず提出できるよう計画的に取り組むこと。

令和4年度 球美中学校各教科シラバス

教科名	中学3年 美術科
教科担当	宜保 泉
教科書名	美術2・3下
副教材名	沖縄の美術 美術資料

はじめに：これから始まる学習に積極的に意欲を持ち、主体的に学ぶ生徒（本校教育目標：知の側面）をめざし、教科ガイダンスを実施します。この1年間の学習について教科シラバスを示して説明します。

予測が困難と言われるこれからの社会で、球美中生徒のみなさんが、①生きていくため、②あこがれの職業につくため、③夢を実現するためには、中学校の各教科の授業の中で身につける「主体的に学ぶ力」が、みなさんの将来に大きな力となって役立ちます。

球美中学校の各教科担当（教科の先生）は、みなさんに、「主体的に学ぶ力」が身に付くよう、「今日の目標 → 目標を達成するための授業・活動 → 今日の目標が達成できたかのまとめ・振り返り」による「わかる授業」を学校全体で実践します。

生徒の皆さんは、各教科の授業における「学び」は実生活とつながっているということを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得」ができるよう努力してください。さらに、「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を活用する活動（思考・判断・表現等）」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「主体的に学ぶ力（＝学びに向かう力）」を育成することにつながります。

教科の学びの習得は、あなたの夢をひろげます。ともに頑張りましょう!!

1 美術科の学習について

学習のねらい	<p>(1) 表現及び鑑賞の活動を通して、創作活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育てる。</p> <p>(2) 美術の基礎的な能力を伸ばし、地域文化についての理解を深め、豊かな感性を養う。</p>
授業のすすめ方	<p>・ 創作実技、鑑賞の2領域の活動を中心にすすめていきます。</p> <p>・ レタリングの方法やデッサンの基礎、色相に関してや各名称等についても学習し、定期テストで知識技能の定着確認を行います。</p>
学習上の留意点	<p>(1) 基礎的な理論、技法を学習し、活用できるよう取り組む。</p> <p>(2) より主体的に表現し、取り組めるよう意欲をもって授業に臨む。</p> <p>(3) 互いに関わり合い、共感し合う場をつくり、学び合う姿勢を大切にする。</p>

2 評価について

評価方法	<p>表現に関する態度：授業に臨む姿勢が問われます。忘れ物をしないこと、課題に集中して取り組むこと、私語や別のことをしないことが大切です。</p> <p>発想や構想：作品製作時の発想や構想の力を見ます。描くことが苦手な人も、独自の発想、アイデアを持って製作できれば評価が上がります。</p> <p>知識・技能：作品を制作する際の技能です。それぞれの単元において求められる基礎的な技法をマスターできるように頑張りましょう。</p> <p>鑑賞に関する態度：教科書やお互いの作品を鑑賞し、まとめる力を見ます。</p>
単元テスト	<p>○ 範囲ごとに単元テストを行います。</p> <p>○ 授業で取り組んだ題材から出題。</p> <p>○ 授業内でやり取りした事からも出題。</p> <p>○ 実技（簡単な描画など）も出題。</p>

3 年間指導計画

月	主な学習内容および項目	教材・教具等
4月	第1時 教科ガイダンス ※教科シラバスを用いて学習内容や評価方法について説明する。 鑑賞「学びの探求と未来」 絵画・彫刻「イメージを追い求めて」 ・ポスターについて ・アイデアスケッチ	美術科シラバス 毎時間、教科書・ファイルなどの学習用具を必ず持つてくること
5月	絵画・彫刻「イメージを追い求めて」 ・イメージを明確にする ・画面構成	※単元テストは実施する1週間前にお知らせします。
6月	絵画・彫刻「イメージを追い求めて」 ・画面構成 ・本制作	
7月	絵画・彫刻「イメージを追い求めて」 ・本制作 ・グループ鑑賞	
8月	コンクール作品制作	
9月	鑑賞「心がほっとなごむもの」 表現・デザイン「自分へ贈る卒業記念品」《篆刻の作成》 ・アイデアスケッチ	
10月	表現・デザイン「自分へ贈る卒業記念品」《篆刻の作成》 ・本制作	
11月	表現・デザイン「自分へ贈る卒業記念品」《篆刻の作成》 ・本制作	
12月	表現・デザイン「自分へ贈る卒業記念品」《篆刻の作成》 ・本制作 ・グループ鑑賞	
1月	鑑賞「仏像に宿る心」 デザイン・工芸「私の色・みんなの色」 ・イメージを明確にする	
2月	デザイン・工芸「私の色・みんなの色」 ・アイデアスケッチ	
3月	デザイン・工芸「私の色・みんなの色」 ・本制作 ・グループ鑑賞	

4 授業をうける心構え

- 球美中学校 授業の約束「スクール7」を重点にする。
 - ・チャイムが鳴る1分前までに授業の準備をして着席し、立腰・黙想を行う。
 - ・質問があるときや問いに答える時は、黙って右手をまっすぐ挙げる（無言挙手）など。
- 美術に興味を持ち、楽しく取り組むようにすること。
- 実技が苦手でも、自己表現を高める努力を重ねること。
- ペアやグループ学習では積極的に意見交換をして、表現力を高めること。

5 家庭学習のアドバイス

- 単元テスト前は授業のプリントやワークをふり返し、対策にしっかり取り組むこと。
- 夏休みの課題は、必ず提出できるよう計画的に取り組むこと。